

地方の創意工夫による自主的な取り組み」の評価基準について

調査項目		判断基準
1 地域計画との連携		
高速道路が通過する市町村数		
上記のうち、高速道路が位置づけられた地域計画が策定されている市町村数		<ul style="list-style-type: none"> ・地域計画の中で新規路線・区間が位置づけられていなければ× ・対象となる市町村名が明記されていなければ× ・路線・区間名や「高速道路」「高規格幹線道路」等が明記されていなければ× ・新規路線・区間との関連が地域計画から読みとれなければ× ・地域計画にa～iの項目名(またはそれに準ずる文章等)が明記されていなければ×
各地域計画において高速道路に期待される機能や役割の多様性(機能等の延べ種類数)		
a	交流・連携	
b	物流及び企業立地、雇用創出	
c	観光振興	
d	まちづくり・生活圏	
e	高度医療・広域消防	
f	災害時の代替路	
g	研究開発	
h	空港・港湾との連絡	
i	環境の改善	
j	その他 []	
2 利用増進の取り組み		
広域行政を活発化するために高速道路の整備を前提とした以下の施設整備が行われているか。		<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路整備を前提とした施設整備(高速道路整備に関連して施設を新規整備、整備計画を変更、等)でなければ× ・既存路線・区間のみに関連した施設整備の場合は×
a	高度医療施設の整備	
b	福祉施設(広域行政を促進する観点から整備されたものに限る)	
c	スポーツ施設(広域行政を促進する観点から整備されたものに限る)	
d	文化施設(広域行政を促進する観点から整備されたものに限る)	
e	行政機関の統廃合・移転	
f	その他 []	
以下の利用増進に向けた取り組みが実施されているか		<ul style="list-style-type: none"> ・a～eに該当する場合は× ・広域行政を活発化するための施設整備といえなければ× ・新規路線・区間の利用増進を目的としていなければ×(高速道路の使い方(必要性、整備効果)に言及していなければ×) ・既存路線・区間のみに関連する記述の場合は× ・建設促進を目的としている場合は× ・過去1年間に2回以上活動していなければ× ・議事録等で活動内容が確認できなければ×
a	利用増進を進める体制	自治体や民間による高速道路に関する委員会・協議会等の設置
b		民間のみによる高速道路に関する委員会・協議会等の設置
c	利用増進のための広報	高速道路に関するシンポジウム・フォーラム・座談会等の開催
d		高速道路に関する参加型イベントの開催
e		高速道路の利用に関するパンフレット・チラシ、小冊子等の配布
f		高速道路に関するラジオ・テレビによる広報
g		地元有識者等による高速道路に関する新聞、雑誌投稿、テレビ、ラジオ出演
h		広報誌等におけるPR
i		高速利用に関するHPの設置
j		関連イベント時における高速道路に関するPR
k	利用増進に関する具体策	観光施設等と連携した各種施設の割引等の実施の予定
l		バス会社に対する高速バス乗り入れの働きかけ
m	その他 []	
3 コスト縮減への取り組み		
以下の取り組みが実施されているか(実施予定)		<ul style="list-style-type: none"> ・予算額が設定されていなければ× ・予算不明、予算0の場合は×
a	土取場等の確保	
b	残土処分地の確保	
c	先行調査の実施	埋蔵文化財調査、公図公簿調査、測量・土質調査等
d	工事用道路、側道等の確保	工事用道路
e		測道
f	案内標識の整備	
g	交差道路の整備	
h	河川、流末等の整備	河川
i		流末処理施設
j	用地買収への協力	
k	その他 []	
上記の項目の事業費総額		<ul style="list-style-type: none"> ・予算額が設定されていなければ× ・予算不明、予算0の場合は×
事業の円滑な実施に向けた地方自治体等のソフト面の取り組みの実施状況		
a	用地取得への協力	用地取得に向けた体制の確立
b		具体的な取り組みの実施
c	自治体における事業の円滑な実施に向けた体制	高速道路窓口の設置
d	事業促進に向けた活動	高速道路の建設促進に向けた組織の設置
e		高速道路の必要性に関する広報活動
		<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路の用地取得に向けた体制と確認できなければ× ・取り組み内容が不明のもの、用地取得と関連がないものは× ・自治体内の窓口でないものは× ・過去1年間に2回以上活動していなければ× ・議事録等で活動内容が確認できなければ×